

# 数 学 科 学 習 指 導 案

指導者 平田 義隆

1. 日 時：平成20年2月1日(金曜日) 6時間目(2時10分～3時00分)
2. 場 所：京都女子中学校
3. 学 級：2年6組(Wisteria コース) 生徒数38名
4. 主 題：定理の発見と証明
5. 目 標：平行線と面積の関係を理解し、それを利用することができる。
6. 指導計画：全9時間

区 分	指 導 内 容		配 当 時 間	
第 一 次	平行線と三角形	中点連結定理	2	4
		平行線と面積	2(本時1回目)	
第 二 次	円周角の定理	円周角	2	5
		円周角の定理	3	

## 7. 本時の目標

(1)題材：平行線と面積

(2)目標：底辺が共通し、それに平行な直線上に頂点を持つ2つの三角形の面積は、等しくなることを理解し、それによって平行線による等積変形をすることができることを理解する。

また、この授業においては、より深い理解を促すよう積極的にICT機器を用いて運営する。通常の板書による授業内容だけでなく、様々な現象を視覚的にとらえることで、生徒達の理解度を上げるよう機器を使用する。

(3)指導過程

段 階	指 導 項 目	指 導 内 容	学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点
(5分)	フラッシュ暗算	授業の導入として「フラッシュ暗算」を行う。スクリーンを見て暗算練習することで、授業への集中力を高めるよう促す。	スクリーンを見て暗算の練習。3～5問程度行う。	全員がしっかり参加しているか注意。

(10分)	平行線と面積	平行線における面積は等しくなることを理解させる。	プリントを埋めながら面積が等しくなることを理解する。	スクリーンで視覚化し、できるだけわかりやすく説明する。三角形の底辺と高さが等しくなることを理解させる。
(10分)		問題をさせる。	問題を解く。	問題演習を通してどのようになれば面積が等しくなるか理解させる。
(10分)	等積変形	例題を示す。	例題を理解する。	平行線によってできる等しい面積を利用して、図を変形できることを理解する。問については、例題を参考に解かせる。これらについても、スクリーンで視覚化し、できるだけわかりやすく説明する。
(10分)		問題を解かせる。	例題を参考にして、問題を解く。	
(5分)	まとめ	本時で学習した内容についてまとめる。		